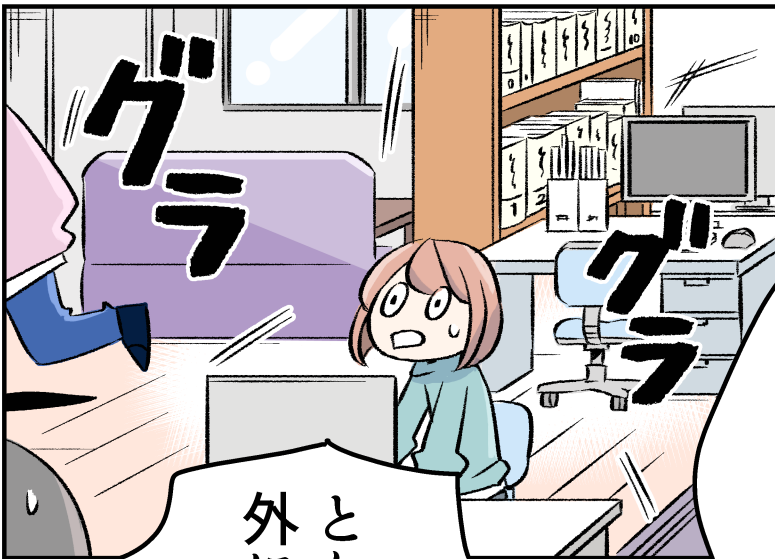
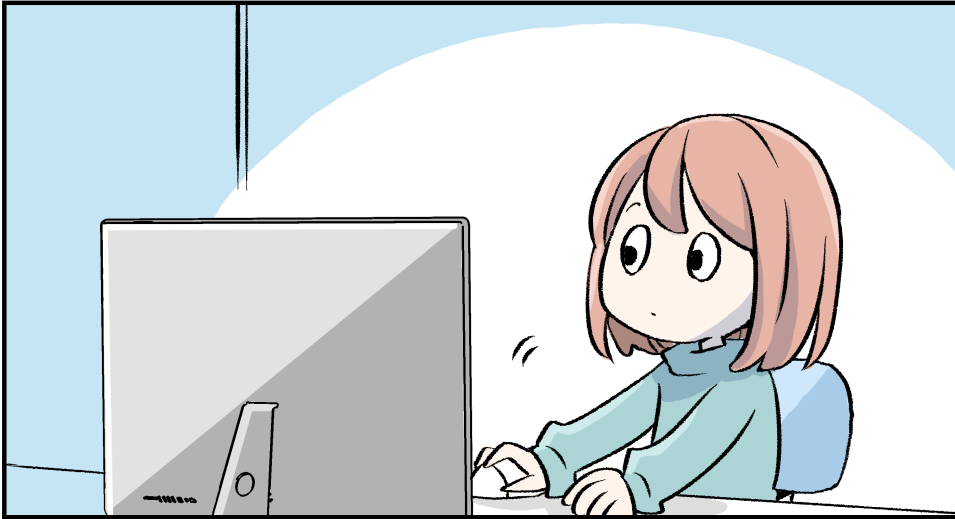


3.11を振り返る

帰宅しても大丈夫？

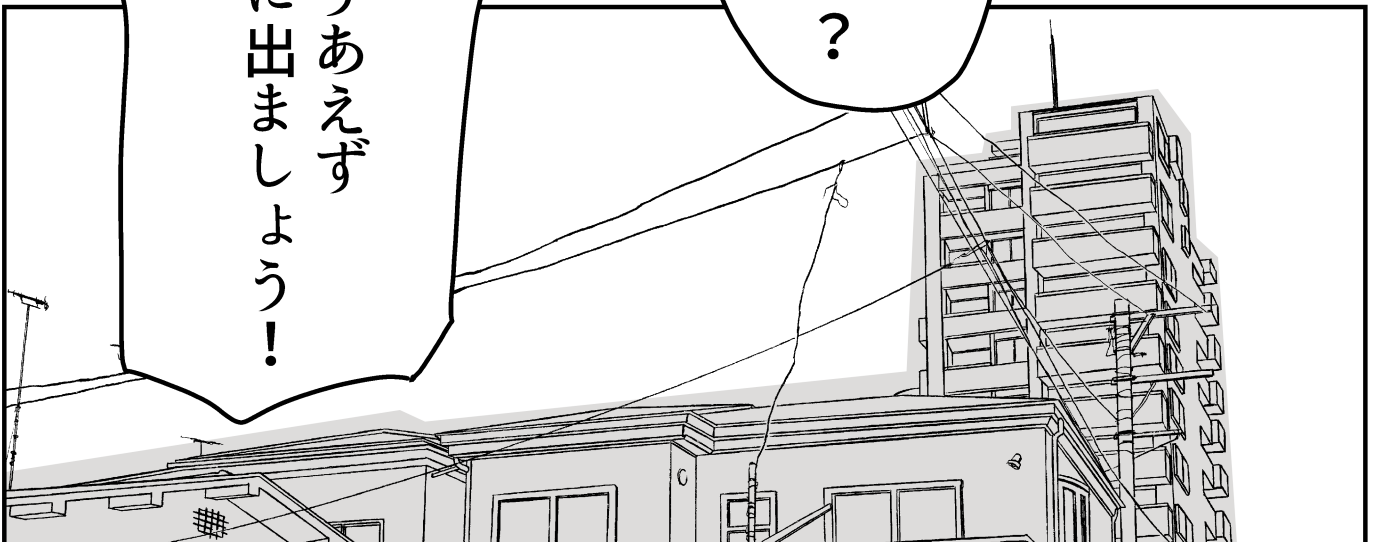
2011
年3月11日

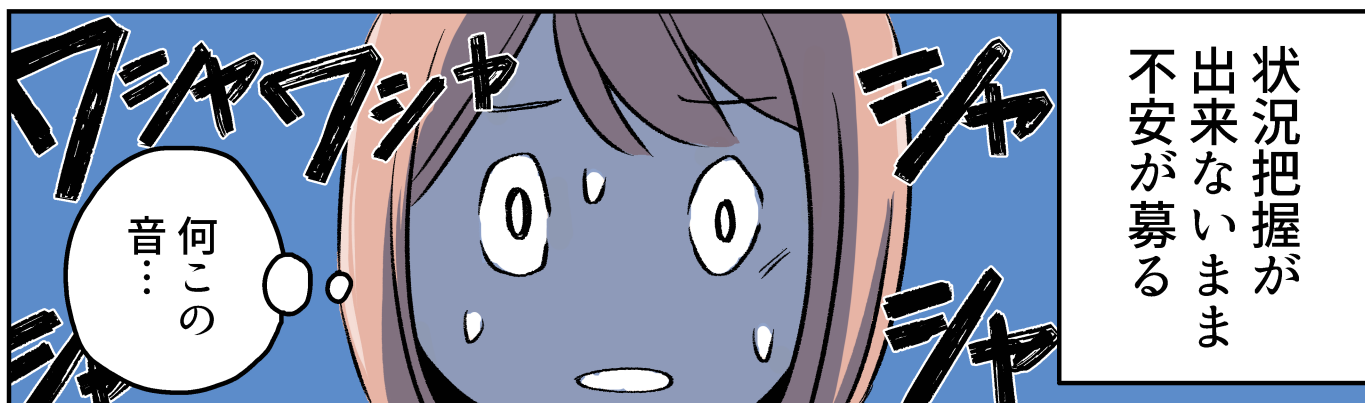
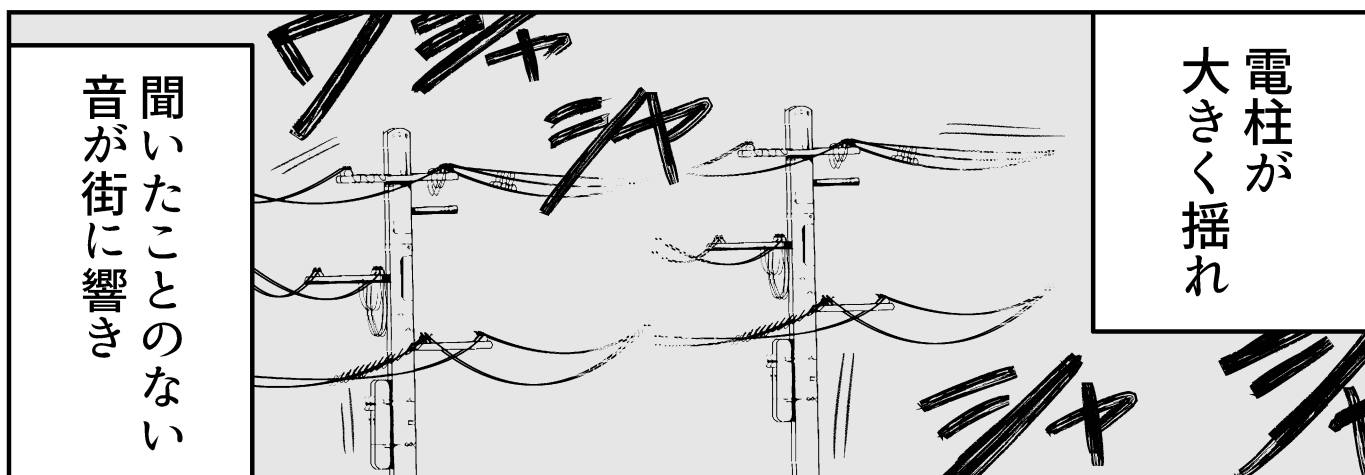
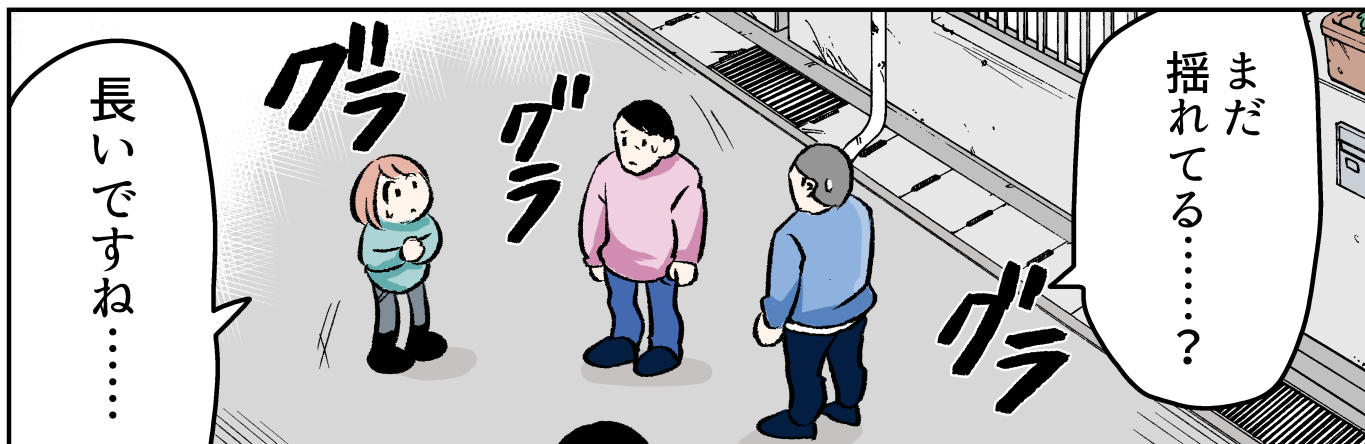
当時20歳、私は
小さなデザイン事務所で
いつも通り働いていた

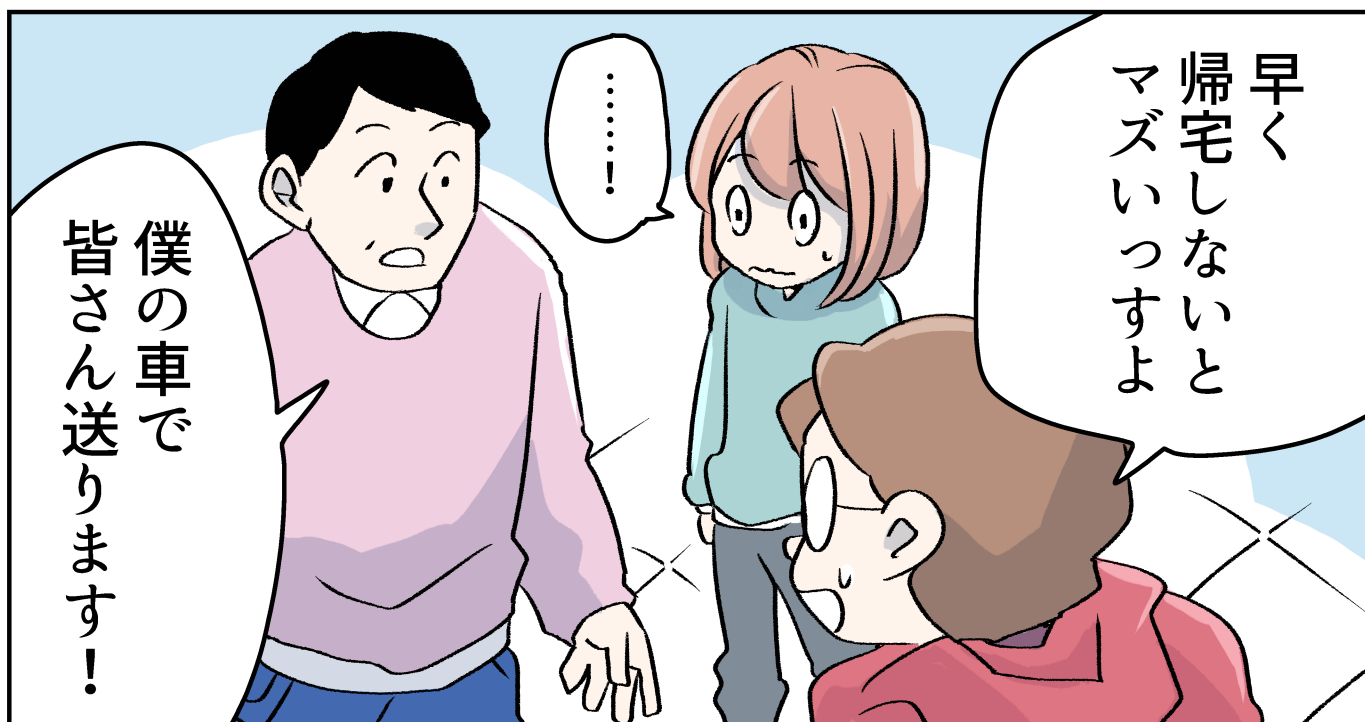
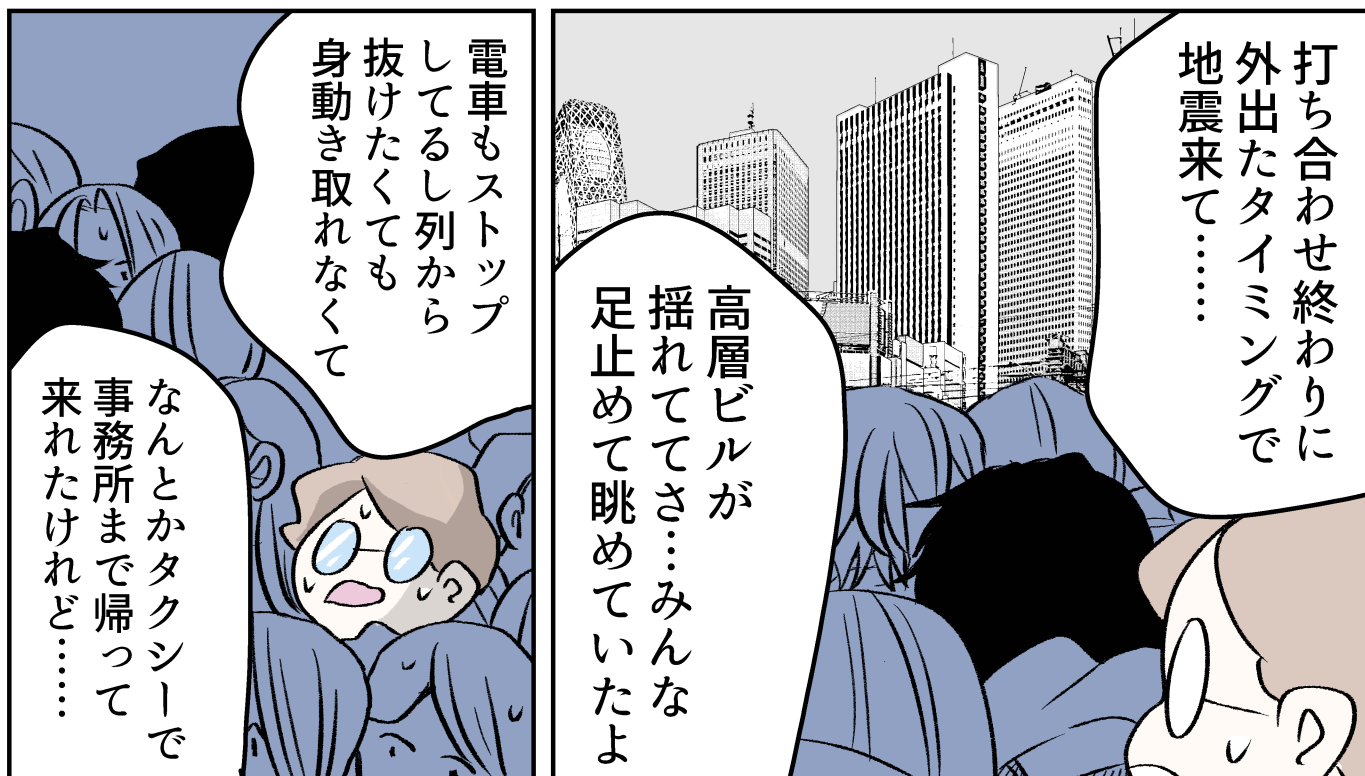
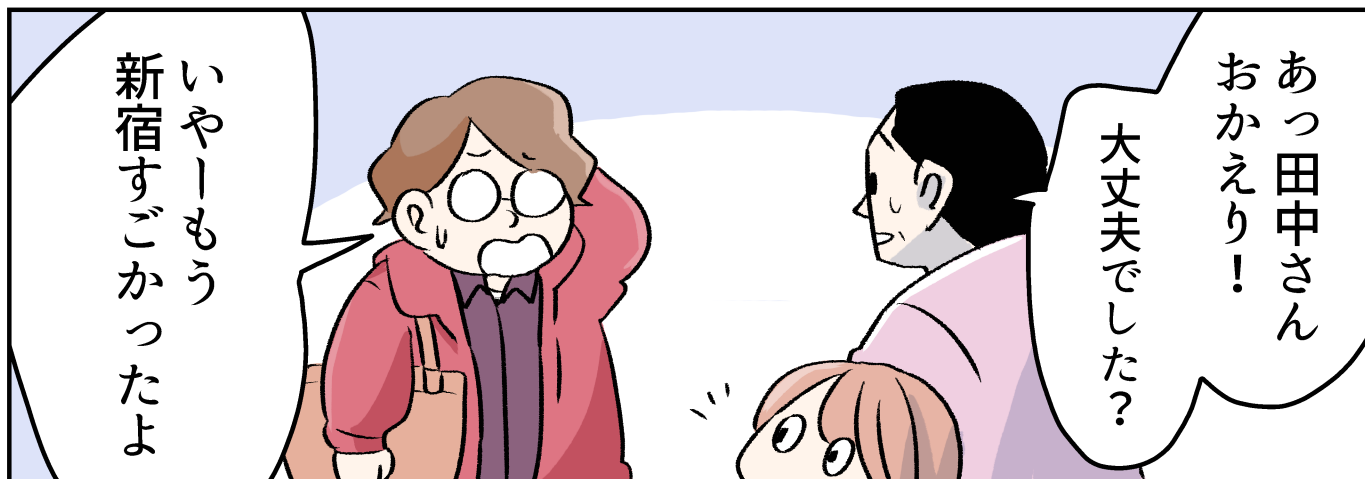


え、でかく
ないですか？

とりあえず
外に出ましょう！







会社にはテレビが無く
状況の把握が
うまくできないうえ

家
大丈夫かなミ

会社に残まれるような
備蓄なども無いため
「とりあえず今のうちに
帰宅した方が良い」という
なんとなくの判断で
車に乗り込んだ

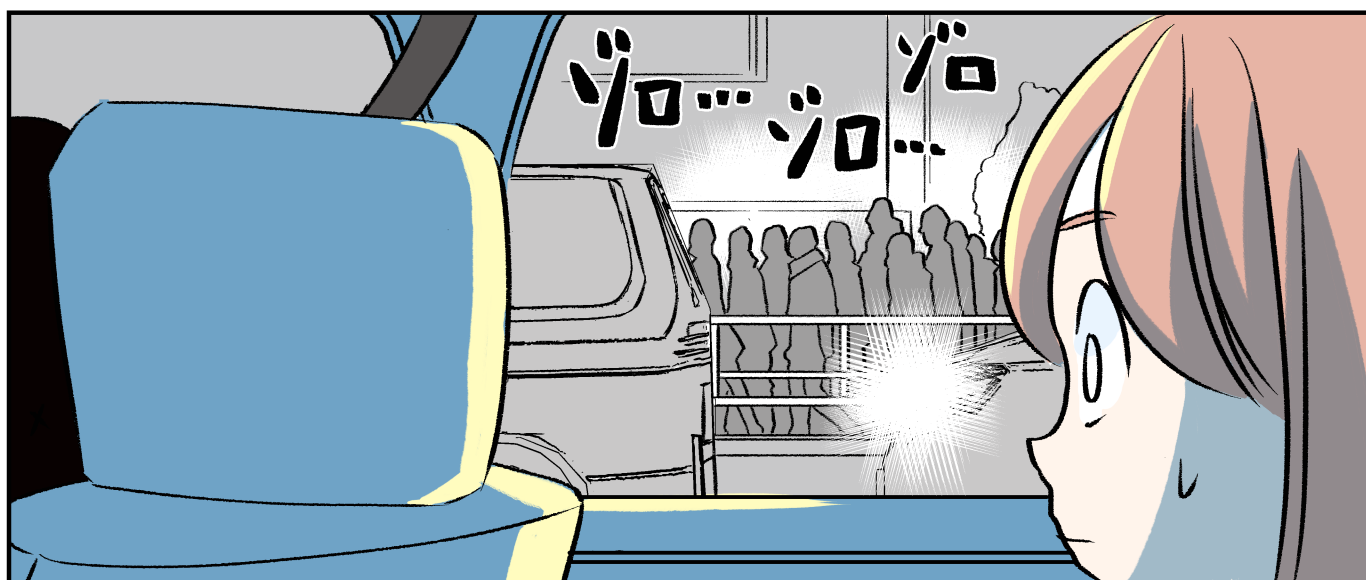
余震の危険性を
あまり意識せず、当時は
「まずは帰宅することが
安全だ」と考えていた

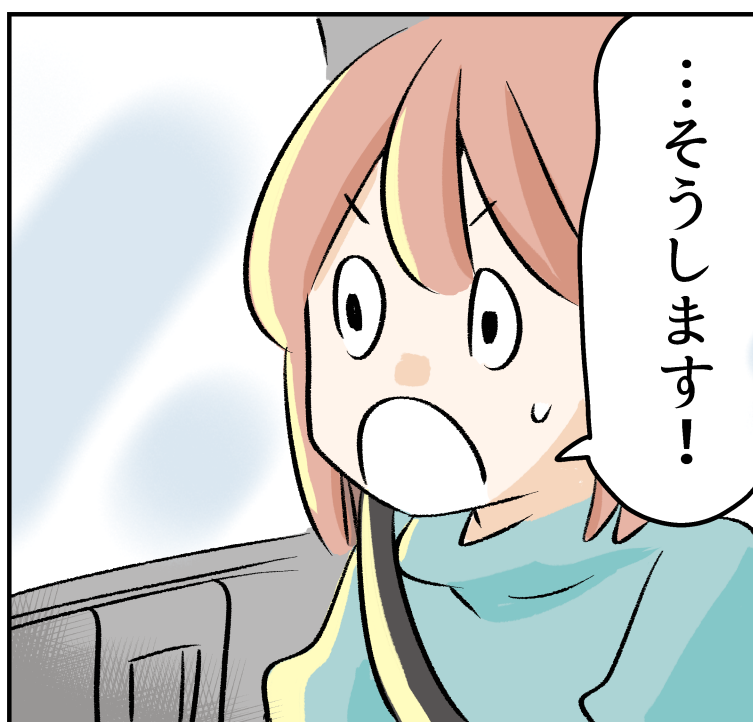
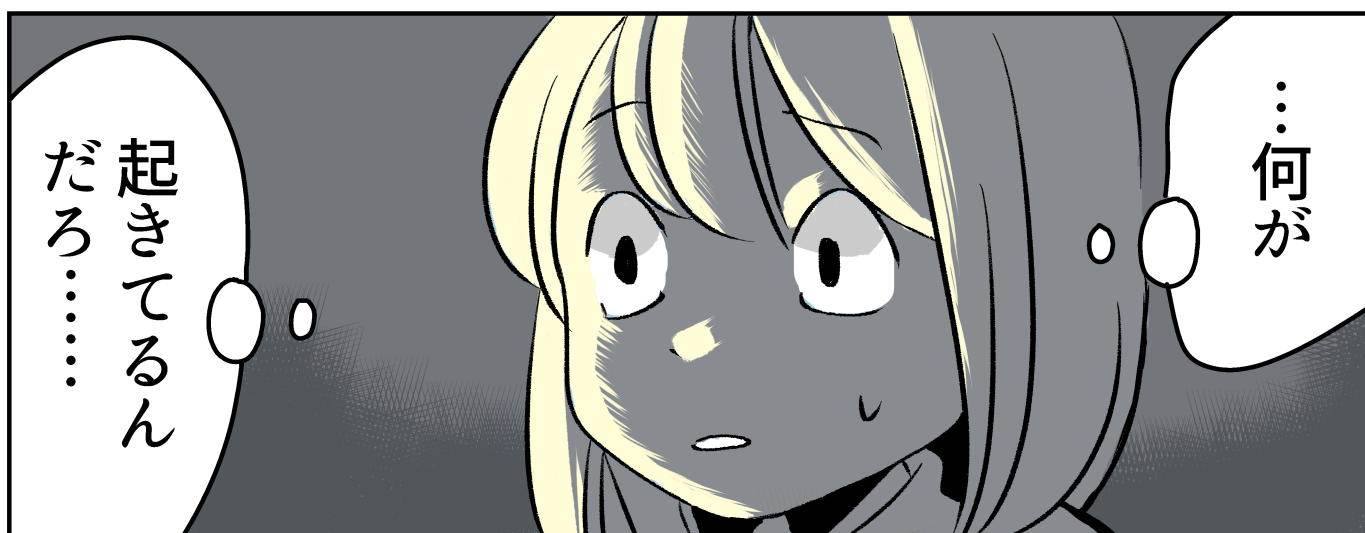
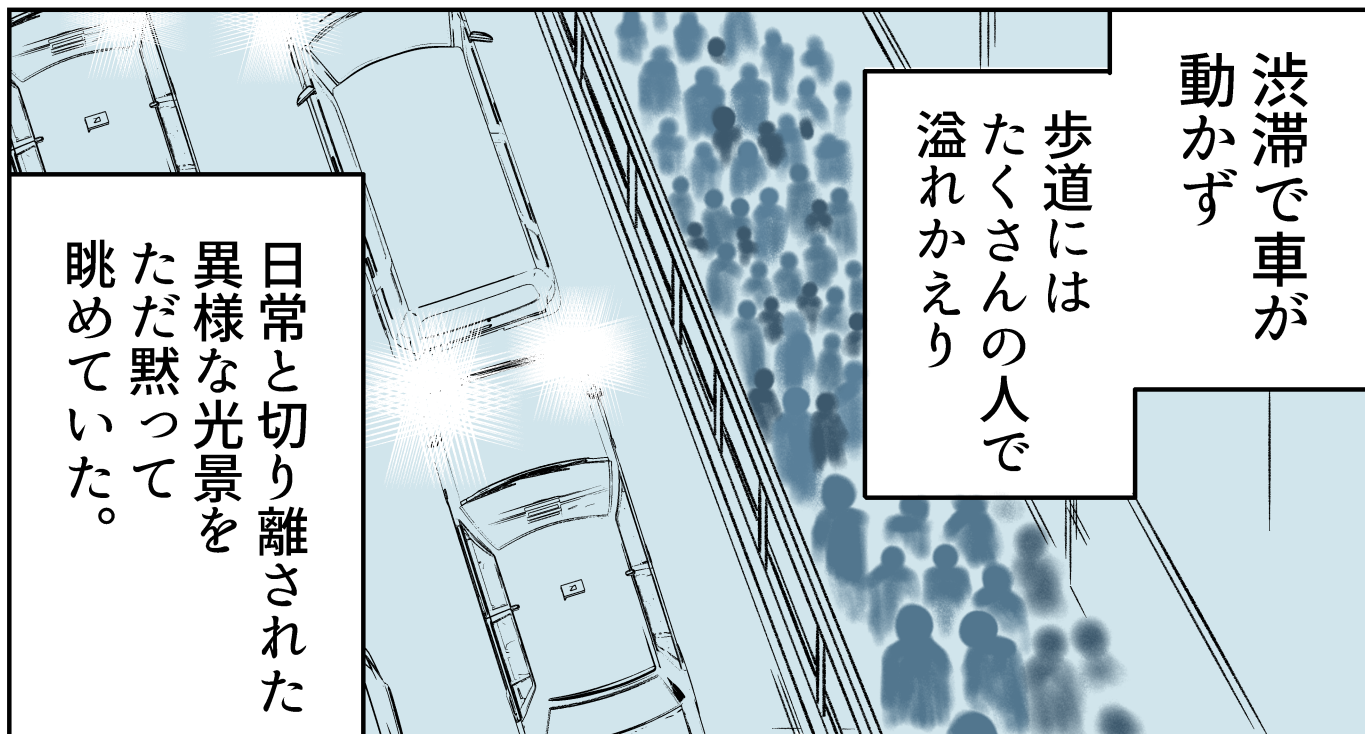
車だし
電車よりも早く
家に着くかも

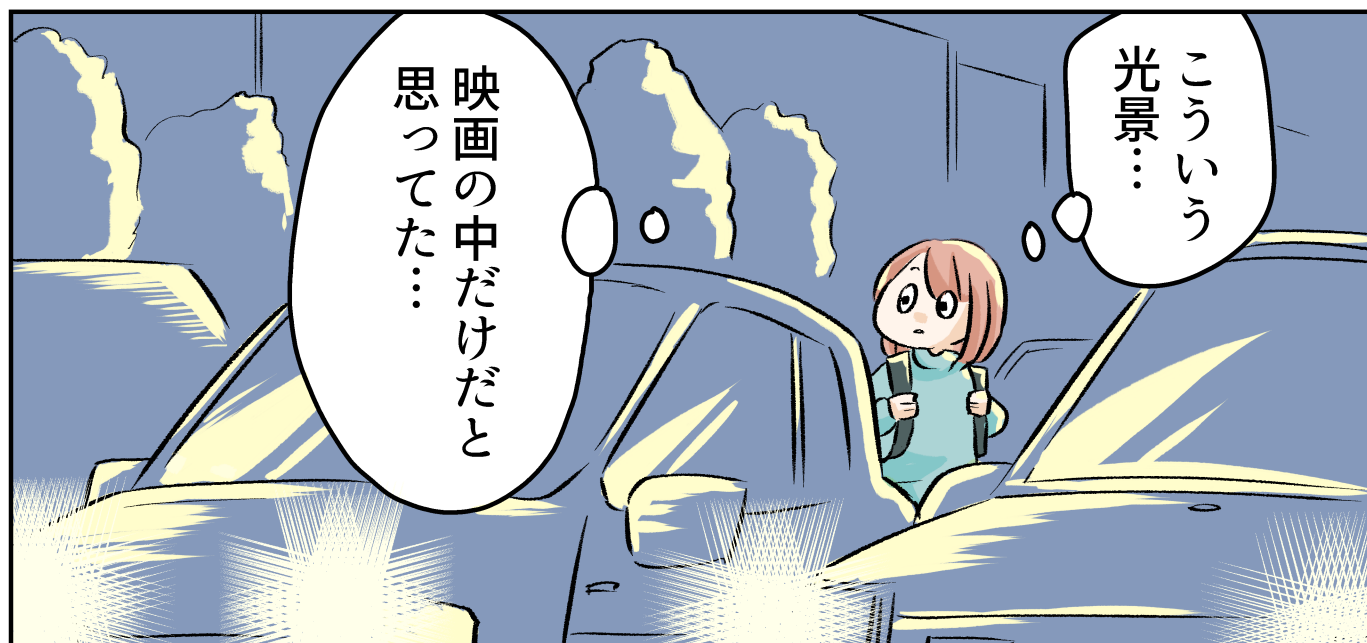
道がすごい
混雑してる

歩道もすごいよ

ゾ...ゾ...







こういう
光景…

映画の中だけだと
思ってた…



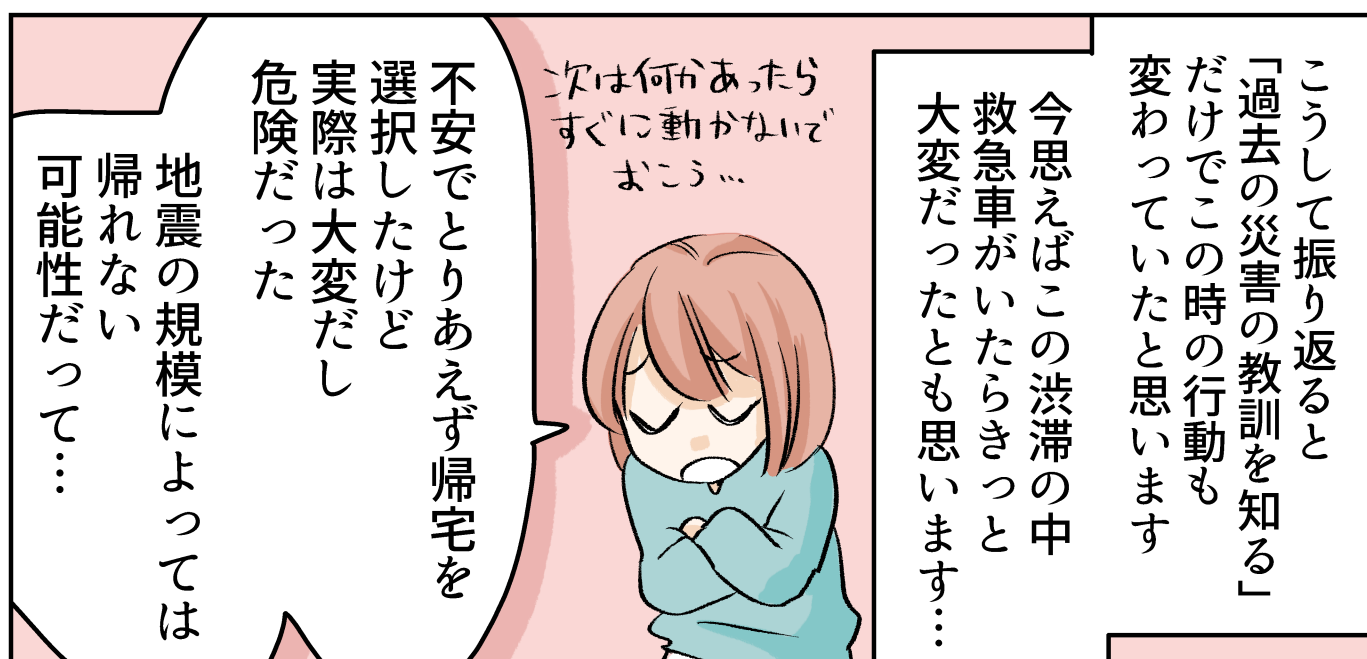
こんな状況にも関わらず、
「危険だ」と感じるよりも

非現実的な
空間の中に突然
閉じ込められたようで

まずは
家…

とにかく
家へ…

フワフワと
現実感ないまま
行動をしてしまっていた



こうして振り返ると
「過去の災害の教訓を知る」
だけでこの時の行動も
変わっていたと思います

今思えばこの渋滞の中
救急車がいたらきつと
大変だったと思います…

次は何かあったら
すぐに動かないで
おこう…

不安でとりあえず帰宅を
選択したけど
実際は大変だし
危険だった

地震の規模によっては
帰れない
可能性だって…

